



ふるさとの自然 (72)

ひっそりと暮らす トウキョウサンショウウオ

○春は産卵の季節

サンショウウオと聞くと大きなものを思い浮かべる人も多いと思いますが、旭周辺には小型のトウキョウサンショウウオがすんでいます。大きさは10~15cmほどで黒っぽい体をしています。形はトカゲに似ていますが、カエルやイモリと同じ両生類です。普段は林の落ち葉の下でひっそりと暮らしているの、姿を見ることはほとんどありません。しかし、春になると産卵のため水辺に降りてくるので、観察できるチャンスです。産卵場所は山あいの田んぼの水たまりで、バナナのような形の卵を一对産みます。卵からかえった幼生はしばらく水中で暮らし、やがて陸に上がり林に入っていきます。

○旭の自然を楽しもう

6年間にわたって続けてきましたこのコーナーも、今回で終了することになりました。平地が多く特徴的な自然は少ない旭市ですが、よく見ると四季折々さまざまな生き物が見つかります。皆さんも身近な自然に目を向けて楽しんでいただければと思います。

ご愛読ありがとうございます。
(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ あさひっ子



かほ
栞歩ちゃん
平成26年11月9日生
両親=松本和之さん
奈甫さん〔ハ〕

パパの作るお団子、早く食べたいな



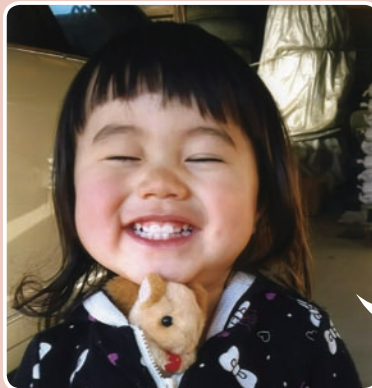
えりこ
恵理子ちゃん
平成26年9月25日生
両親=佐久間一憲さん
真理子さん〔東足洗〕

優しくて大好きなお兄ちゃんに電話しようかな♪



あかり
明香里ちゃん
平成26年4月29日生
両親=石橋智さん
江里加さん〔飯岡〕

リスのぬいぐるみがお気に入り!



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、旭市子育て支援センターハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

復興計画で定めた集中復興期間の5年が経過しようとしています。復興に対する実感はさまざまだと思いますが、今回の特集では5年間の検証と、それぞれが感じる復興感をテーマに取材を始めました。取材に協力してくれた人には、深い悲しみや苦難を乗り越えた人も多かったはずですが、笑顔で協力いただき、その言葉には前向きで将来を見据えた力強さと、地域を思う愛がありました。一人一人の愛情が力となり、地域を支え、旭市は着実に復興へ向っているのだと思います。(M)

くらしのカレンダー

- 11日(金) 東日本大震災五周年 千葉県・旭市合同追悼式(午後2時30分~ いいおかユートピアセンター)
- 20日(日) 春分の日
熊野神社の神楽
- 27日(日) 鎌数伊勢大神宮の神楽(~28日(月))